

ふるさと上越

ネットワーク

NO. 12

2002年2月15日発行

●発行

ふるさと上越ネットワーク事務局（上越市東京事務所内）
〒100-0012
東京都千代田区日比谷公園1-3 市政会館5階
TEL. 03-3503-1521 FAX. 03-3503-1522

contents

新市長挨拶	1
ふるさと交流会	2~3
東海地区サロン	4
『桜の木』の植樹無事終了	5
思い出の風景は今、はつらつグループ紹介	6
母校は今	7
イベント情報、ふるさとの味、会員からのたより	8

この情報紙は

- ふるさと上越が好き!
- ふるさと上越との交流を深めたい!
- ふるさと上越にゆかりのある人
たちと交流の輪を広げたい!
- ふるさと上越の発展の役に立ちたい!
……そんな、あなたにお届けしています

【情報をお待ちしています】 TEL.03-3503-1521



▲市民との対話を推進します

新市長ご挨拶

はじめまして 木浦 正幸です

——明るく元気な新しい上越市を築きます——

昨年の選挙で多くの市民の皆様からご支援をいただき、市長の重責を担うことになってから早くも3か月余りが経ちました。連日、市民や職員との対話を通じて、新しい

まちづくりに向けて頑張っています。いま、私たちの暮らしかつて経験したことのないほど先行きの見えない構造不況や金融不安、雇用不安に見舞われています。

このような中であって、上越市の持つ潜在力と創造力を十分に発揮して、今までにも増して発展し続けていくためには、一度じっくりと腰を据えて自らを取り巻く環境をしっかりと正確に見極め、市民の皆さんとともに新しい局面を創造していくことが何よりも重要であると考えています。

意、渾身の力を振り絞ってまいり覚悟であります。全国にお住まいのふるさと上越ネットワーク会員の皆様からも、活力に満ちた「明るく元気な新しい上越市」の実現にご協力を賜われますよう心からお願ひ申し上げます。

このことは、私が選挙戦を通じて主張してきた「身の丈にあった市政」を実践していくことで実現されるものと確信しています。市民の皆さんとの率直な対話を通じて、市民が誇りと愛着の持てる「市民本位のまちづくり」を推進するため、誠心誠



▲精力的に仕事を進めています

第5回

ふるさと交流会開催

平成13年 9月29日(土)・30日(日)

1日目
9月29日(土)



うまい〜

新宿駅西口発

←高校時代の仲良し同級生

小林古径特別展



繊細な絵だね



上越市出身の日本画壇の巨匠・小林古径画伯を顕彰するため建設された小林古径記念美術館での特別展を見学しました。

体験農園



早く花を咲かせてほしいね



夕市

くわどり湯ったり村前で開催の夕市で、取れたて新鮮野菜をお土産に買いました。



くわどり湯ったり村にて交流会、宿泊

地元の農産物でつくられる料理と地酒をたくさんいただきました。



おいしかった

Jネット記念植樹



高田公園(忠霊塔前)にJネットの木を植樹して、Jネットの足跡を上越に刻みました。



Jネット
相談役

野口 春雄

孫や子に自慢できるような桜に

びに私達の誇りになっております。いままで、桜を植えて育ててくれた人達のご苦労を思い浮かべ、孫や子が自慢できるような桜に育つよう、一畝、一畝、心をこめて植樹したいと思っております。

心のふるさとに



元副市長

山口 弘司

この度、Jネットの第5回ふるさと交流会にあたり、上越市発足30周年記念事業の一環として、桜の木「記念植樹」を高田公園に行うことができ、大変うれしく思います。
例えば、この地高田公園は、元騎兵隊跡地、明治42年に第13師団が高田に設置がきまり、これを記念して高田の人達がお金を出し合っ、お城の周りに桜を植えたのが始まりで、今日、日本3大夜桜として有名になっており、市民並

桜を活かしたまちづくりを市民ぐるみで推進している中、上越ふるさとにするJネットのみなさんの桜は大変うれしく思います。桜を見たらふるさとを思い出してください。桜を心のふるさととしてJネットのみなさんにはがんばってもらいたいと思います。

2日目
9月30日(日)

市民の森散策

ブナ林などを散策。自然を満喫しました。



風力発電施設見学

直江津港公園にこの春完成した上越の新名所、高さ50m、羽の直径46mのタワーを見学しました。

すごく高くて
大きいね



上越観光物産センター

米と酒の謎蔵(三和村)

地酒を堪能。試飲のしすぎでほろ酔いの人も。



なつかしいわあ

新宿駅西口着

またお会いする日を楽しみに...

市民プラザ見学

PF方式の施設を見学。
市全体の写真でふるさとを確認!!

~~ 今回の交流会は21名の参加をいただきました。~~
参加者みなさんの感想です。

- ・植樹は将来の楽しみを残してくれた。あの桜の下で集まって宴を持ちたい。
- ・小林古径展でまだ鑑賞したことがない作品をみることができた。
- ・市民の森散策で自然を大切にしながらの森づくりと自然に支えられている私達の日常生活を改めて強く感じた。
- ・毎年同じでなく、いろいろな企画で上越地方の状況が分かる。
- ・宿泊施設がよく、手作りのお料理もおいしく満足した。(くつろぎ、もてなしがよい)
- ・見学、イベントにゆっくり時間をかけていただけること。
- ・休日にもかかわらず市職員の方々が対応や案内をしていただいたこと。
- ・市民の森散策が良かった。もう少し時間をかけて木々を見たい。
- ・新鮮な野菜の収穫と夕市での農産物。
- ・山林の環境整備のための分区林計画。(市民の森散策)
- ・緑多い山々、広々とした田畑をしばらくぶりに見て、命が延びた。
- ・小林古径の素晴らしい作品の数々にめぐりあえたこと。
- ・「雪中梅」の酒の源を初めて訪れたこと。
- ・毎回植樹をしたらどうか。
- ・上越市の範囲がわからないので東方面、西方面と分けて行ってみたい。
- ・ふるさとが新潟ではないが気持ち良く参加させていただいた。
- ・今回の交流会は内容等非常に良かった。
- ・心あたたまると楽しい旅に参加させていただきありがとうございます。
- ・市民プラザを会場として、イベントを計画し、地元の人ともしっかりと交流が持てたら。
- ・市民プラザに感心しました。
- ・ゆったり村はすばらしい施設で良かった。
- ・車中でビールをたくさんいただきありがとうございました。
- ・幹事さんご苦労様でした。

〈次回も楽しい企画を考えたいと思います。皆様のご参加をお願いします。事務局〉

サロン開催

東海地区

毎月第2水曜日、東京事務所を会場に行われているJネットサロン。今年は東海地区におじゃましました。



東海地区サロンを、平成13年10月13日(土)午後6時より、名古屋駅ツインタワーのレストランパーゴラを会場に26名の参加で開催しました。

まず太田会長による開会挨拶、小野塚運営委員の挨拶があり、乾杯、懇親会に入りました。

第2回ということもあり、ご夫婦や友人を伴っての参加もみられました。上越の能鷹や岩の原ワインを味わいながらのふるさと談義、また上越の地図を開いてふるさとを懐かしむ姿も見られました。

みなさんにPRを



太田 四郎
Jネット会長

東海地区サロンにたくさんお集まりいただいで大変うれしく思います。

一昨年の12月に開催して以来、今回で2回目となります。

Jネットは「ふるさと」をみなさんに届けるため努力しておりますが、この努力を友人、知人にPRしていただき、これからもみなさんといっしょに盛り上げていきたいと思っています。



ふるさとへお花見に



小野塚いい子
運営委員

今年は市発足30周年という事で、たくさん市の事業がありました。Jネットもいろいろな形で参画しました。一つはJネットの提言から生まれた「謙信公の塩」、もう一つはJネットの桜を高田公園に植樹したことです。

高田公園は日本3大夜桜といわれますが、Jネットの桜も数年後には花が咲いてご覧頂けると思っています。ぜひ、みなさん、いっしょにふるさとでお花見をしましょう。また、様々な活動を通して、いっしょにJネットを盛り上げていきましょう。



左から能鷹
岩の原ワイン(白)
岩の原ワイン(赤)

久しぶりの
姉妹対面です



▲ご夫婦で参加

みんな集まると
つい飲みすぎちゃう



▲ご夫婦で参加

うちは
この辺かな



▲地図で町内確認



▲ふるさとをつまみに歓談

『桜の木』の植樹無事終了!!

▶ 妙高連山が一望できる場所にみなさんの桜は植えられています。
(右から妙高山、黒姫山、飯綱山)



85本というたくさんの方の申し込みをいただいた『桜の木』のオーナーの植樹が、県立中央病院隣にある新南町公園で10月末に無事終了しました。

市では一万本の桜が咲き誇るまちづくりを推進しています。現在、約一万三百本の桜が植えられています。みなさんの桜もこれに数えられます。

新南町公園の桜は、2000年ミレニアムイベントで植樹された桜を加えると約200本植えられています。10年、20年後には、立派に桜は花開き、南葉山、妙高山が見える新南町公園でお花見が楽しめます。

今年もまたオーナーの募集をします。昨年度申し込みできなかった方も、ぜひ今年申し込みください。



▶ プレートにオーナーの名前が刻まれています。



思い出の風景は今

会員から寄せられた
“心に残る原風景の今”
をご紹介します。あなた
の“原風景”を教えてください。

平成高田新雁木

東京都目黒区在住
寒竹 伸一（南城町3出身）

東海道よりも早い時期に全通した信越本線の駅であり、越後における西洋文化波及起点の場所であった歴史を持つ高田駅前に、「和と洋の出会いと共存（瓦と煉瓦）」を基本コンセプトの一つとした計画をしていきます。アーケードによって駅正面を創り出していきます。



▲高田駅前の平成雁木

伝統的雁木とは違いますが、雪国高田が創り出した雁木の知恵に現代高田の知恵を加えて「平成時代の雪国高田の新しいアーケード」となることを目指しました。江戸雁木ではなく「平成高田新雁木」であります。この「平成高田新雁木」が北国の雄・高田の新しく、固有な都市景観の一つとなることを目指しています。

文化の発信点

「直江津駅」

千葉県野田市在住
澤 カツ子（旧諏訪村東中島出身）

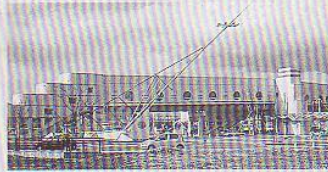
荒川の橋を渡り、直江津南小学校の柳の所まで行くと、木村パン屋の匂いが辺りに漂ってきます。左に折れ、まっすぐ進むと「直江津駅」があり、鉄道の分岐点として、たくさんの人達が往来していたことが思い出されます。

その懐かしい三角屋根の駅舎は平成11年、新たに船の形となって生まれ変わりました。何もなかった駅裏も開発されて、今では美味しいお店が建ち並んでいます。

昨年10月初旬、全国規模のイベント「農都市ウィーク」が駅前のホテルセンチュリーイカヤ（旧いかや旅館）で行われました。各フォーラムや学術会議に参加させていただき、今昔ともに文化の発信点と感じました。



▶ 駅裏の玄関「南口」、高田方面への玄関口として整備されています。



▶ 駅前北口と駅裏南口の間の通路は、あすか通りと名付けられ市民に親しまれています。

はつらつグループ紹介 ⑧

東京福祿会

～同窓会などの活躍の様子をお伝えしていきます～

「東京福祿会の活躍」



▲平成13年総会にて

▶ 平成12年ハワイゴルフツアー旅行にて



昭和30年に「福祿会」は誕生した。県立高田高等学校を昭和29年、新制高校第6回卒業のフクロクから命名された同期会である。「東京福祿会」はその東京支部で30年の歴史がある。

さて、現在の「東京福祿会」の活動は飲み会、さらにはゴルフ会に旅行会等であるが、なんといっても総会が正式行事である。総会は年1回開催、上越在住者も含めて50名程が集まる。在学時の生徒は男子10人に対して女子1人の比率。それが今では総会参加者は3対1の比率。近年の女性の強さが福祿会でも遺憾なく発揮されている。

ところで会活動の中で権威ある文化的活動の一つはゴルフ会で20年以上の歴史になる。特筆すべきは、このゴルフ会に同窓の大先輩86歳の野口春雄氏が特別会員として毎回元気にプレーされていることである。

我々もこれから最大20年、野口先輩の歳までゴルフをしても百回どまり。何をしても数に限りがある歳になった。「福祿会」とか「東京福祿会」等と区別せずにこれからは年1回の豪華な総会を開きたいものである。

東京都杉並区在住 櫻野利介（本町4出身）

皆様のお宅まで
ふるさとを
お伝えします。

購読料
2,575円（郵送料込）
日刊 **上越タイムス**
0120-17-4243
発行日、お宅に届きます。

上越を読む

月刊 上越エリア情報誌
上越タイムス

TEL 0255-24-4275 FAX 0255-24-4451



創業明治23年
伝統の味
岩の原ワイン

～日本の本格的ワイン発祥の地～
株式会社 岩の原葡萄園

TEL 0255-28-4002 新潟県上越市北方1223番地
URL <http://www.iwanochara.sgn.ne.jp/>

会の運営に
ご協力いただいている
特別賛助会員です。

母校は今

旧諏訪中学校

母校「旧諏訪中学校」の沿革を辿ると、まず昭和38年津有中学校と合併しました。そして平成元年に、旧高士中学校が津有中学校に統合され、校名が現在の「雄志中学校」となっています。雄志とは「雄々しく志す」という意味が込められ、当時の植木公市長が命名されました。

現在の校舎に入ってみると、そこには「ふるさとの偉人に学ぶ」と題された3人の業績が紹介されています。それは、ワイン醸造の先駆者「川上善兵衛」(右の原葡萄園)、郵便の父「前島密」(前島記念館)、昭和初期の外務大臣「芳澤謙吉」(芳澤記念館)の3人です。ふるさとを代表する偉人が校区から3人も輩出されていることは少なからず母校の誇りとなっています。

母校の特色は、全校生徒数約280名で、市内では中規模の学校



▶ 現校舎の正面玄関



▲ グランドから見た妙高連峰

潮陵中学校

潮陵中学校は、平成2年に旧谷浜中学校と旧桑取中学校が統合されて創立された学校です。私は、旧谷浜中学校出身ですので、今回、潮陵中学校を紹介するにあたっては、学校のHP (<http://www.choryo-jomaeed.jp/index.html>) を参考にさせていただきます。

潮陵中学校は、上越市西部を流れる桑取川(上越市で唯一鮭がのぼる川で上流には「くわどり湯ったり村」があります。)の河口から1kmほど上流の高台にあり、旧谷浜中学校と同じ場所にありますが、校舎は統合を機に近代的校舎に生まれ変わっています。

「潮陵」という名称は、元は谷浜中学校の生徒会誌の名前で、谷浜・有間川地区という海岸部と桑取地区という丘陵部を学区とするということで統合中学校の名称として採用されました。

過疎化・少子化の影響からか生徒数は、現在は69名となっております。市内では最も生徒数の少ない学校かもしれません。しかしながら、HPから窺われる、近代的な校舎でのICTなどを活用した最新の教育と海・川・山に隣接するという豊かな自然環



▲ 有間川から望む潮陵中学校 (左から潮陵中学校、谷浜地区多目的研修センター、谷浜小学校)



▲ 現校舎の正面玄関

昭和50年旧谷浜中卒
千葉県市川市在住
平井 光夫 (西山寺出身)

境の下での生き生きとした中学校生活は、他のどんな学校にも劣るものではないと思います。後輩たちが、このような恵まれた教育環境での中学校生活に自信と誇りをもって、たくましく育っていただくことを切に望みます。

感動創造
FUKUDA CORPORATION

株式会社 福田組
代表取締役副社長 菅野 隆
営業本部長

東京本社
〒112-8411 東京都新宿区市谷本町3-25
TEL 03-3269-4711 FAX 03-5261-5387

高田郵便局が
新しく生まれ変わりました。

平成13年10月22日開局

高田郵便局
局長 桐生 重俊

上越市リフレッシュビレッジ キーワードは 自然・食・健康・親しめます

スキー場「倉山」の
「特産品販売」と
加工体験

ヨーデル会谷
高級車用・ストリフカー・ローカル
ティーストイ、いい、(カワエラ)の
イベントの開催
上越高田ICそば
TEL(0255)23-0681

正善寺工房
・上越市の特産品加工販売
・加工体験・健康の推進
・イベントの開催
TEL(0255)23-0627

ブナの森に包まれた、静寂の温泉・宿泊エリア
くわどり湯ったり村
上越の
温泉 料金/大人500円 小学生300円
・宿泊 1泊2食/大人800円
小学生500円
TEL(0255)41-2611 FAX(0255)41-2616

管理/運営
リフレ上越山里振興株式会社

JAえちご上越

「たれもが安心して暮らせる地域づくり」
それが「JAえちご上越」の願いです。

地域のため 皆様のため ぐらし応援します

JAえちご上越農業協同組合
〒943-0817 新潟県上越市徳栄5番30号
TEL0255272001 FAX0255272009
代表理事組合長 柳澤 武治

高田城100万人観桜会 詳しくは広報をご覧ください



高田公園は「さくらの名所百選」の一つ。ぼんぼりに映える日本3大夜桜の美しさで知られる観桜会には100万人が訪れます。詳しくは、今後発行される広報をご覧ください。

■と き / 2002年 **4月6日(土) ~ 21日(日)**
 ■と ころ / **高田公園**

平成14年度Jネット総会・懇親会のおしらせ

平成14年度の総会・懇親会が下記の日程で行われます。会員の皆さんが一堂に集まる絶好の機会ですので、親睦を深めるためにもぜひご参加ください。

■と き / 2002年 **5月25日(土)**
 総会:午後4時30分から 懇親会:午後6時30分から
 ■と ころ / **アルカディア市ヶ谷 (私学会館)**
 (東京都千代田区九段北4-2-25)

め体育課の
育課長はし
が、市の体
時間が切迫
してきた



注: 法政大学経営学部教授 野球部長
として「尽力いただきました」

皆様の「努力で成功裡に終了した。野球の試合を行うだけでなく、少年野球の指導と、初めての試みである六大学の進学相談も行った。野球指導者の講習会なども検討されたが、日程の関係で実現できなかったことが残念である。今度は、新球場での開催を期待したい。
 千葉市在住 今井一孝
 (大町5出身)



● 東京六大学野球上越大会

昨年8月20日~22日の3日間、上越で初めて東京六大学野球が開催されました。30周年記念事業の一つとして「東京六大学野球上越大会」の開催が持ち上がったのは、「Jネット太田会長」の叙勲祝賀会であった。最大の問題は、市の企画であるため予算が認められるかどうかであった。予算が通過するまで打ち合わせもできず、時間が切迫してきた

会員からのたより (上越市発足30周年記念事業に参加して)

● 市民ゴルフ大会

昨年9月30日の日曜日に「上越市発足30周年記念事業」の一貫として、市民ゴルフ大会が開催されました。参加者は、記念のボールマーカーをもらい張り切ってプレーを開始しました。妙高サンシャインゴルフ場では多忙の中、前市長の宮越さんも駆けつけ、ネクタイ姿で始球式に臨みました。参加者は地元老若男女、そして東京などからの人も加えて、その総数は約400人を数え、盛大に青空の下でのびのびとプレーしました。プレー後、上越市へ戻り、上越市市民プラザでダブルペリア方式による優勝者などの表彰が行われ、その日の珍プレー、好プレー、ゴルフ談義にと賑やかな中、記念事業に花を添えつつお開きとなりました。
 川崎市在住 竹林 征雄
 (大町2出身)

東京で食べられるふるさと味の味



「SANTAMARUTA」
 南城町3丁目出身のオーナーシェフ飛田重信さんは、高田高校を卒業後、港区飯倉のキャンティで長くチーフを務め、その後本場イタリアへ渡って修行し、5年前に現在のお店を開店しました。
 サントマルタは本場イタリアの味をベースにしたシェフの独創料理が楽しめ、季節によっては上越地方の



食材を用いたふるさと味の味も味わうことができます。
 ■ご主人から会員のみなさんへメッセージ
 「本場イタリアの味を、ぜひ一度ご堪能ください。」

東京都目黒区中目黒4-10-34
 東急東横線中目黒駅から徒歩10分(目黒警察署近く)
 電話:03-3710-4588
 営業時間
 ・ランチタイム
 平日・正午~午後2時
 土日祭・正午~午後3時
 ・ディナータイム
 午後6時~午後10時
 定休日 月曜日

ふるさと上越の味が味わえるお店がありましたらぜひ紹介してください。

お ね がい

■ 会員募集のお知らせ

Jネットも5年目を迎え、これからますます充実した活動を行うためにも、より多くの方にネットワークに参加してもらう必要があります。ぜひ、みなさんのご親戚やご友人などにJネットをご紹介ください。事務局までご連絡いただければ詳しい案内と入会申込書をお送りします。

■ 住所が変わった方はお知らせください

転居により住所が変更された場合は、新住所を事務局までお知らせください。(電話、FAX、E-mailでも結構です)

■ みなさんの声をお聞かせください

ふるさとへ寄せる思いや思い出など皆さんからのお便りをお待ちしています。またJネットの運営に対するご意見、ご要望もあわせて募集しています。

編集後記

昨年11月、就任されたばかりの上越市の木浦正幸新市長に、Jネットへのメッセージをご寄稿いただき、一面を飾りました。いかがでしたでしょうか。新市長には、Jネットのさらなる発展のために、これからも大いにご支援いただきたいと思います。期待しております。
 さて、Jネットの連帯の経験者は1人もなく、全くの素人集団となつてこの会報誌づくりをしておりますが、どんな方々が携わっているかをご紹介します。
 進行役はコンサルタント会社の社長ですが、実質的なリーダー格は食品会社の社長。あとは元大手ゼネコン会社勤務、団体職員、繊維会社役員、通信機器会社勤務、そして3人の主婦の方で、かくいう私は42年近い新聞社勤めですが、営業関係一筋でした。他に東京事務所の所長以下2人がセッティングと一切の事務処理をしてくれています。要はこの中に編集連帯の経験者は1人もなく、全くの素人集団となつてこの会報誌づくりをしておりますが、どんな方々が携わっているかをご紹介します。
 編集委員 大滝恵三
 東京都葛飾区在住 (大手町出身)